

平成 20 年度

決 算 概 要

福 島 県 南 会 津 町

平成20年度 決算概要目次

第1 実質収支に関する調書	1	10. 水道事業会計決算について	
第2 平成20年度決算状況		第29表 平成20年度水道事業会計款別決算額	15
1. 一般会計・特別会計決算額について		第5 地方財政状況調査による資料	16
第1表 平成20年度会計別決算総括表	2	第6 健全化判断比率の状況	17
2. 一般会計決算について		基金の状況（平成21年度当初予算概要抜粋）	18
平成20年度一般会計款別図表	3		
第4表 平成20年度一般会計歳出決算額財源内訳	4		
第5表 平成20年度一般会計歳出性質別決算額	5		
平成20年度一般会計性質別図表	6		
第10表 地方債目的別現在高	7		
3. 国民健康保険特別会計決算について			
第12表 平成20年度国民健康保険特別会計款別決算額	8		
4. 老人保健特別会計決算について			
第15表 平成20年度老人保健特別会計款別決算額	9		
5. 後期高齢者医療特別会計決算について			
第16表 平成20年度後期高齢者医療特別会計款別決算額	10		
6. 介護保険特別会計決算について			
第18表 平成20年度介護保険特別会計款別決算額	11		
7. 農林業集落排水事業特別会計決算について			
第20表 平成20年度農林業集落排水事業特別会計款別決算額	12		
8. 公共下水道事業特別会計決算について			
第23表 平成20年度公共下水道事業特別会計款別決算額	13		
9. 簡易水道事業特別会計決算について			
第26表 平成20年度簡易水道事業特別会計款別決算額	14		

第1. 実質収支に関する調書

単位：千円

区 分		一 般 会 計	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	老 人 保 健 特 別 会 計	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	介 護 保 險 特 別 会 計	農 林 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計
1 歳	入 総 額	12,946,447	2,417,687	224,509	200,539	1,474,213	206,095	447,518	685,602
2 歳	出 総 額	12,621,224	2,296,464	223,127	195,532	1,468,382	204,980	445,876	682,363
3 歳	入 歳 出 差 引 額	325,223	121,223	1,382	5,007	5,831	1,115	1,642	3,239
4	①継続費通次繰越額								
	②繰越明許費繰越額	54,913							
	③事故繰越し繰越額								
	計	54,913							
5	実 質 収 支 額	270,310	121,223	1,382	5,007	5,831	1,115	1,642	3,239
6	実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額								

《参考：各会計間繰入繰出額》

単位：千円

区 分	一 般 会 計	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	老 人 保 健 特 別 会 計	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	介 護 保 險 特 別 会 計	農 林 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	水 道 事 業 会 計
繰 入 金	2,016	182,048	16,531	79,308	248,225	124,505	173,111	150,158	25,578
繰 出 金	995,015				1,516		4,449		500
繰入を除く歳入決算額 純計	12,944,431	2,235,639	207,978	121,231	1,225,988	81,590	274,407	535,444	251,249
繰出を除く歳出決算額 純計	11,626,209	2,296,464	223,127	195,532	1,466,866	204,980	441,427	682,363	338,142

(注) 繰入繰出金には、一般会計から企業会計への貸付金の償還元金を含む。

第2. 平成20年度決算状況

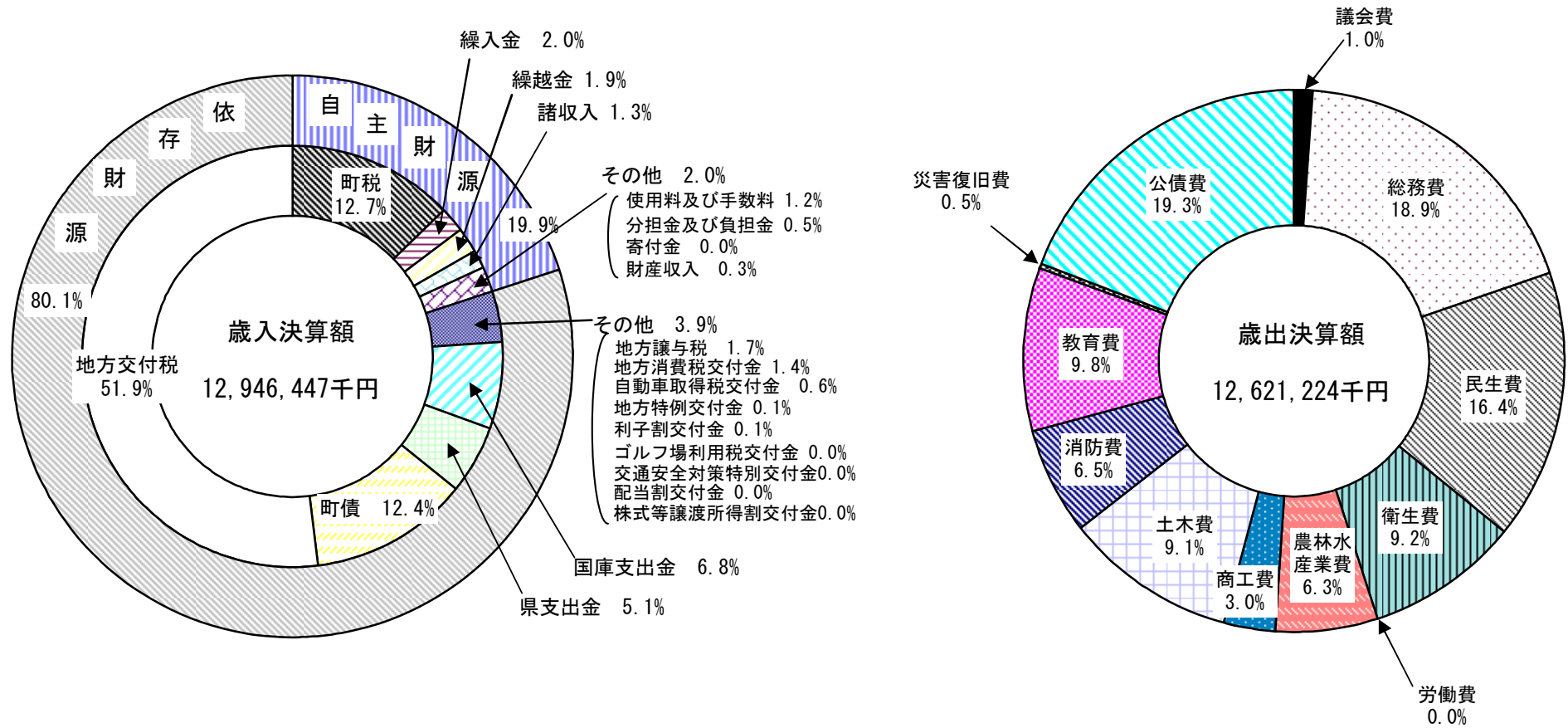
1. 一般会計・特別会計決算額について

第1表 平成20年度会計別決算総括表

単位：円，%

会計名	区分	予算額 (C)	決算額 (D)	予算対比較増減	予算執行率	前年度予算 執行率	前年度決算額対 比増減率	備考
一般会計	歳入(A)	13,628,911,000	12,946,446,685	△682,464,315	95.0	99.6	△0.5	繰越明許費繰越額 54,913,000円
	歳出(B)	13,628,911,000	12,621,224,355	1,007,686,645	92.6	97.8	△1.2	翌年度純繰越額 270,309,330円
	差引(A)-(B)		325,222,330					
国民健康保険特別会計	歳入(A)	2,424,000,000	2,417,687,952	△6,312,048	99.7	100.1	3.9	
	歳出(B)	2,424,000,000	2,296,464,326	127,535,674	94.7	94.6	4.5	翌年度純繰越額 121,223,626円
	差引(A)-(B)		121,223,626					
老人保健特別会計	歳入(A)	224,509,000	224,508,889	△111	100.0	100.0	△90.0	
	歳出(B)	224,509,000	223,126,851	1,382,149	99.4	99.6	△90.1	翌年度純繰越額 1,382,038円
	差引(A)-(B)		1,382,038					
後期高齢者医療特別会計	歳入(A)	197,818,000	200,538,705	2,720,705	101.4	—	—	
	歳出(B)	197,818,000	195,531,541	2,286,459	98.8	—	—	翌年度純繰越額 5,007,164円
	差引(A)-(B)		5,007,164					
介護保険特別会計	歳入(A)	1,475,205,000	1,474,213,753	△991,247	99.9	100.0	1.2	
	歳出(B)	1,475,205,000	1,468,382,278	6,822,722	99.5	99.7	1.1	翌年度純繰越額 5,831,475円
	差引(A)-(B)		5,831,475					
農林業集落排水事業特別会計	歳入(A)	205,921,000	206,094,662	173,662	100.1	100.1	△1.9	
	歳出(B)	205,921,000	204,979,652	941,348	99.5	99.5	△1.8	翌年度純繰越額 1,115,010円
	差引(A)-(B)		1,115,010					
公共下水道事業特別会計	歳入(A)	446,880,000	447,518,624	638,624	100.1	95.6	△3.0	
	歳出(B)	446,880,000	445,876,218	1,003,782	99.8	94.9	△2.6	翌年度純繰越額 1,642,406円
	差引(A)-(B)		1,642,406					
簡易水道事業特別会計	歳入(A)	820,801,000	685,602,013	△135,198,987	83.5	100.2	25.7	
	歳出(B)	820,801,000	682,363,390	138,437,610	83.1	99.5	26.1	翌年度純繰越額 3,238,623円
	差引(A)-(B)		3,238,623					
総計	歳入(A)	19,424,045,000	18,602,611,283	△821,433,717	95.8	99.7	△8.2	繰越明許費繰越額 54,913,000円
	歳出(B)	19,424,045,000	18,137,948,611	1,286,096,389	93.4	97.7	△8.7	翌年度純繰越額 409,749,672円
	差引(A)-(B)		464,662,672					
水道事業会計 (企業会計)	収益の収入(A)	170,212,000	170,753,072	541,072	100.3	99.8	2.9	不足額 57,086,426円は次により補填 損益勘定留保資金 55,548,826円 過年度分消費税資本的収支調整額 1,537,600円
	収益の支出(B)	177,981,000	175,481,383	2,499,617	98.6	98.8	6.9	
	差引(A)-(B)		△4,728,311					
	資本の収入(A)	117,074,000	106,074,323	△10,999,677	90.6	100.0	406.8	
	資本の支出(B)	175,161,000	163,160,749	12,000,251	93.1	99.0	67.3	
	差引(A)-(B)		△57,086,426					

図表1 一般会計決算図表



第4表 平成20年度一般会計歳出決算額財源内訳

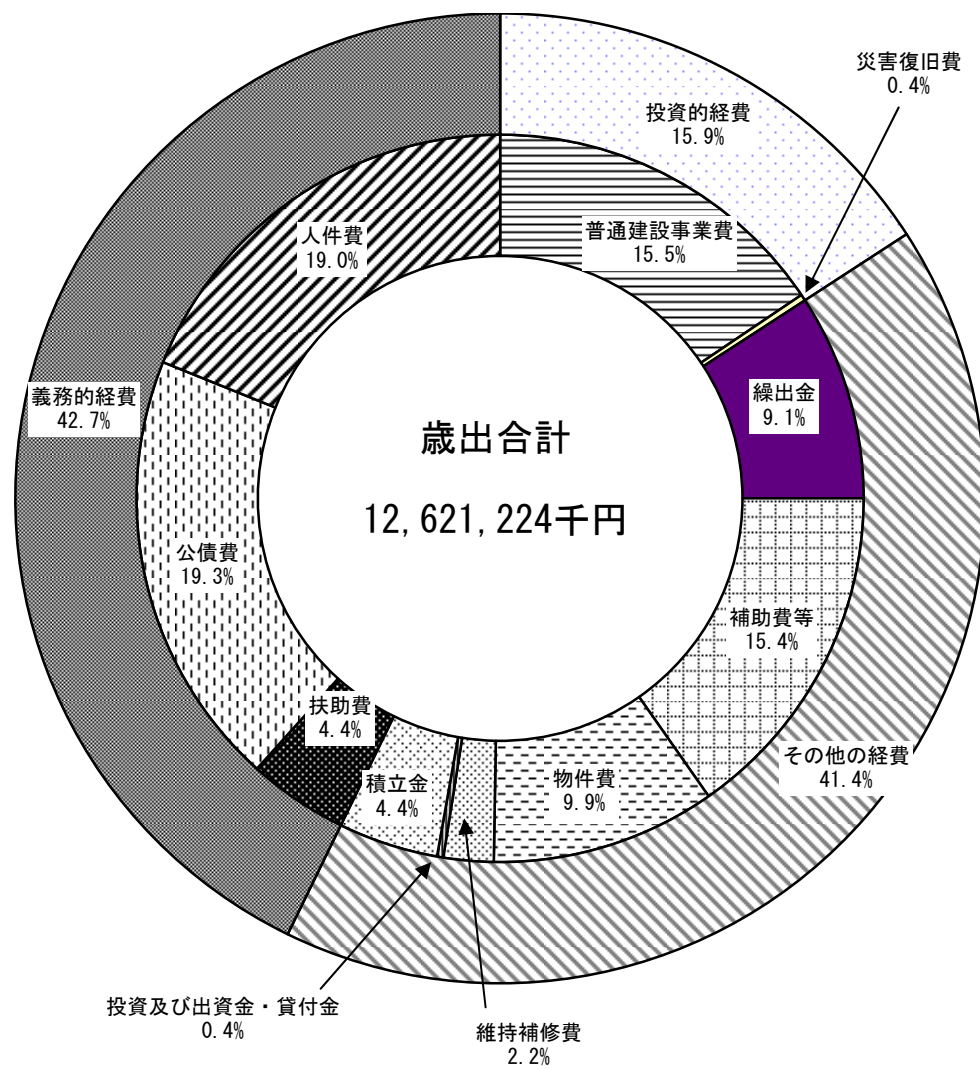
単位：千円

款	決算額	特 定 財 源										一 般 財 源	一般財源 充当割合 (%)	一般財源 充当構成 比 (%)	
		国庫支出金	県支出金	使用料 手数料	分担金負担 金寄付金	財産収入	繰入金	諸収入	繰越金	町債	計				
1. 議 会 費	122,193												122,193	100.0	1.3
2. 総 務 費	2,384,509	312,898	76,740	13,043	3,219	2,751	16,972	26,165			411,600	863,388	1,521,121	63.8	15.8
3. 民 生 費	2,063,343	172,321	233,564	58,820	35,815	1,598	39,615	18,271	4,805	59,600		624,409	1,438,934	69.7	14.9
4. 衛 生 費	1,163,583	13,888	8,149	749	244			10,129				33,159	1,130,424	97.2	11.7
5. 労 働 費	2,426		2,026									2,026	400	16.5	0.0
6. 農 林 水 産 業 費	797,920	1,571	148,472		5,066	68	6,652	21,770	2,910	78,500		265,009	532,911	66.8	5.5
7. 商 工 費	379,213	1,612	46,019			1,522	30,505	27,101				106,759	272,454	71.8	2.8
8. 土 木 費	1,149,558	57,057	67,046	38,422	29	180		1,425	345	209,600		374,104	775,454	67.5	8.1
9. 消 防 費	825,363	472	40,473					1,908		240,200		283,053	542,310	65.7	5.6
10. 教 育 費	1,238,000	96,348	4,724	7,570	1,528		9,000	10,446		178,500		308,116	929,884	75.1	9.7
11. 災 害 復 旧 費	56,514	8,758	32,915						6,766	7,700		56,139	375	0.7	0.0
12. 公 債 費	2,438,602			29,055				34,760				63,815	2,374,787	97.4	24.6
13. 諸 支 出 金															
歳 出 合 計	12,621,224	664,925	660,128	147,659	45,901	6,119	102,744	151,975	14,826	1,185,700		2,979,977	9,641,247	76.4	100.0

第5表 平成20年度一般会計歳出性質別決算額

区 分	歳出決算額	構 成 比	平 成 19 年 度		比 較	
			歳出決算額	構 成 比	増減額	増減率(%)
1. 義 務 的 経 費	5,386,133	42.7	5,433,746	42.5	△ 47,613	△ 0.9
人 件 費	2,394,116	19.0	2,515,159	19.7	△ 121,043	△ 4.8
扶 助 費	553,415	4.4	518,119	4.0	35,296	6.8
公 債 費	2,438,602	19.3	2,400,468	18.8	38,134	1.6
2. 投 資 的 経 費	2,009,113	15.9	2,466,272	19.3	△ 457,159	△ 18.5
普 通 建 設 事 業 費	1,952,599	15.5	2,397,724	18.8	△ 445,125	△ 18.6
補 助 事 業 費	600,356	4.8	673,304	5.3	△ 72,948	△ 10.8
単 独 事 業 費	1,277,067	10.1	1,612,041	12.6	△ 334,974	△ 20.8
県 営 事 業 負 担 金	57,518	0.5	96,519	0.8	△ 39,001	△ 40.4
そ の 他	17,658	0.1	15,860	0.1	1,798	11.3
災 害 復 旧 事 業 費	56,514	0.4	68,548	0.5	△ 12,034	△ 17.6
3. そ の 他 の 経 費	5,225,978	41.4	4,869,428	38.2	356,550	7.3
物 件 費	1,246,786	9.9	1,363,697	10.7	△ 116,911	△ 8.6
維 持 補 修 費	274,140	2.2	298,113	2.3	△ 23,973	△ 8.0
補 助 費 等	1,944,354	15.4	1,646,717	12.9	297,637	18.1
積 立 金	559,643	4.4	408,099	3.2	151,544	37.1
投資及び出資金・貸付金	55,285	0.4	71,309	0.6	△ 16,024	△ 22.5
繰 出 金	1,145,770	9.1	1,081,493	8.5	64,277	5.9
合 計	12,621,224	100.0	12,769,446	100.0	△ 148,222	△ 1.2

図表2 一般会計性質別決算額



第10表 地方債目的別現在高

単位：千円

区 分	平成19年度末現在高	平成20年度借入額	平成20年度償還額			平成20年度末現在高
			元 金	利 子	計	
1. 一般公共事業債	742,615	25,500	183,745	11,069	194,814	584,370
2. 公営住宅建設事業債	425,429		47,612	11,782	59,394	377,817
3. 災害復旧事業債	156,413	8,400	27,632	1,805	29,437	137,181
4. 教育・社会福祉施設等整備事業債	271,177		61,411	9,693	71,104	209,766
5. 一般単独事業債	3,375,280	494,000	491,340	49,551	540,891	3,377,940
6. 辺地対策事業債	146,852		18,348	1,935	20,283	128,504
7. 過疎対策事業債	6,300,938	651,700	1,025,097	87,300	1,112,397	5,927,541
8. 財源対策債	82,439	6,800	6,267	1,573	7,840	82,972
9. 臨時財政特例債	51,179		34,760	2,861	37,621	16,419
10. 減税補てん債	403,597		40,794	5,074	45,868	362,803
11. 臨時税収補てん債	90,050		8,301	1,795	10,096	81,749
12. 臨時財政対策債	3,941,004	414,532	172,537	52,770	225,307	4,182,999
13. 調 整 債	7,403		5,294	358	5,652	2,109
14. 県 貸 付 金	208,405		21,970	877	22,847	186,435
15. 公有林整備事業債	241,275		23,304	4,101	27,405	217,971
16. 介護サービス施設整備事業債	459,627		15,142	6,011	21,153	444,485
17. 下水道事業債	6,856		579	326	905	6,277
18. 一般会計出資債	58,309		3,772	1,816	5,588	54,537
合 計	16,968,848	1,600,932	2,187,905	250,697	2,438,602	16,381,875

3. 国民健康保険特別会計決算について

[総括] 国民健康保険特別会計の決算収支状況は、歳入総額2,417,687千円、歳出総額2,296,464千円で繰越額121,223千円となった。療養給付費は前年度に比べ、一般被保険者分で34.0%、346,914千円の増、退職被保険者等分で△24.9%、△315,786千円の減となった。一般被保険者が増加し退職被保険者が減少しているのは、退職医療制度の改正によるものが主な理由である。保険給付費総額においては、2.0%、29,061千円増加した。医療費削減に向け保健事業の実施や医療費適正化事業を推進していく必要がある。

第12表 平成20年度国民健康保険特別会計款別決算額

単位：円

款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	未収入額	予算対比較増減 (B)-(A)	収入割合 (%)			前年対増減比 (%)
							予算対	調定対	歳入計対	
1. 国民健康保険税	486,250,000	606,429,328	479,098,781	5,123,400	122,207,147	△7,151,219	98.5	79.0	19.8	△ 9.0
2. 国庫支出金	596,711,000	597,035,584	597,035,584			324,584	100.1	100.0	24.7	△ 10.8
3. 前期高齢者交付金	461,983,000	461,983,200	461,983,200			200	100.0	100.0	19.1	皆増
4. 県支出金	116,799,000	117,175,618	117,175,618			376,618	100.3	100.0	4.9	△ 1.2
5. 療養給付費交付金	145,372,000	145,372,467	145,372,467			467	100.0	100.0	6.0	△ 61.2
6. 共同事業交付金	280,910,000	280,911,663	280,911,663			1,663	100.0	100.0	11.6	3.1
7. 財産収入	185,000	184,255	184,255			△745	99.6	100.0	0.0	△ 59.0
8. 繰入金	203,850,000	203,847,662	203,847,662			△2,338	100.0	100.0	8.4	△ 12.2
9. 繰越金	129,045,000	129,045,804	129,045,804			804	100.0	100.0	5.4	2.5
10. 諸収入	2,895,000	3,032,918	3,032,918			137,918	104.8	100.0	0.1	△ 25.0
歳入合計	2,424,000,000	2,545,018,499	2,417,687,952	5,123,400	122,207,147	△6,312,048	99.7	95.0	100.0	3.9

歳出

単位：円

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合 (%)		前年対増減比 (%)
					予算対	歳出計対	
1. 総務費	62,209,000	61,279,270		929,730	98.5	2.7	△ 10.6
2. 保険給付費	1,490,143,000	1,487,278,394		2,864,606	99.8	64.8	2.0
3. 後期高齢者支援金等	245,433,000	245,432,281		719	100.0	10.7	皆増
4. 前期高齢者納付金等	332,000	330,475		1,525	99.5	0.0	皆増
5. 老人保健拠出金	34,857,000	34,855,437		1,563	100.0	1.5	△ 86.6
6. 介護納付金	110,017,000	110,016,757		243	100.0	4.8	△ 11.3
7. 共同事業拠出金	302,735,000	302,733,938		1,062	100.0	13.2	15.1
8. 保健事業費	25,221,000	24,137,102		1,083,898	95.7	1.0	103.5
9. 基金積立金	17,185,000	17,185,000			100.0	0.7	3727.4
10. 諸支出金	13,239,000	13,215,672		23,328	99.8	0.6	24.3
11. 予備費	122,629,000			122,629,000	0.0	0.0	-
歳出合計	2,424,000,000	2,296,464,326		127,535,674	94.7	100.0	4.5

4. 老人保健特別会計決算について

[総括] 老人保健特別会計の決算収支状況は、歳入総額224,509千円、歳出総額223,127千円で繰越額1,382千円となった。平成20年4月からは、新たに独立した医療制度となる「後期高齢者医療制度」が開始され、老人保健制度による被保険者は新たな制度に移行した。このため平成20年度においては、老人医療受給者に対して平成20年3月の診療分や3月以前の再審査請求分、さらには過誤調整などの精算が行われた。なお、「老人保健特別会計」は残務整理期間として平成22年度まで継続します。

第15表 平成20年度老人保健特別会計款別決算額
歳入

単位：円

款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	未収入額	予算対比較増減 (B)-(A)	収入割合 (%)			前年対増減比 (%)
							予算対	調定対	歳入計対	
1. 支払基金交付金	104,290,000	104,290,786	104,290,786			786	100.0	100.0	46.5	△90.8
2. 国庫支出金	66,990,000	66,990,000	66,990,000				100.0	100.0	29.8	△91.0
3. 県支出金	16,429,000	16,429,344	16,429,344			344	100.0	100.0	7.3	△91.2
4. 繰入金	16,531,000	16,530,808	16,530,808			△192	100.0	100.0	7.4	△90.7
5. 繰越金	9,735,000	9,734,803	9,734,803			△197	100.0	100.0	4.3	1,670.9
6. 諸収入	10,534,000	10,533,148	10,533,148			△852	100.0	100.0	4.7	△6.8
歳入合計	224,509,000	224,508,889	224,508,889			△111	100.0	100.0	100.0	△90.0

歳出

単位：円

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合 (%)		前年対増減比 (%)
					予算対	歳出計対	
1. 医療諸費	214,602,000	213,223,454		1,378,546	99.4	95.6	△90.3
2. 諸支出金	9,907,000	9,903,397		3,603	100.0	4.4	△72.9
歳出合計	224,509,000	223,126,851		1,382,149	99.4	100.0	△90.1

5. 後期高齢者医療特別会計決算について

[総括] 後期高齢者医療特別会計の決算収支状況は、歳入総額200,539千円、歳出総額195,532千円で繰越額5,007千円となった。
後期高齢者医療制度は、平成20年4月から制度開始となり、歳入の主となる保険料は、年金からの天引きとなる特別徴収、納付書で送付する普通徴収により納付することとなった。20年度では、年度途中から保険料に関する制度の大幅な見直しを実施され、納付方法が特別徴収から普通徴収になった対象被保険者への周知不足などがあり、収入未済額が1,972千円となった。今後は、収入未済の早期解消のため、被保険者に対して、保険料納付についての周知、啓蒙を進める必要がある。

第16表 平成20年度後期高齢者医療特別会計款別決算額

款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	未収入額	予算対比較増減 (B)-(A)	収入割合 (%)			前年対増減比 (%)
							予算対	調定対	歳入計対	
1. 後期高齢者医療保険料	111,231,000	115,927,700	113,955,300		1,972,400	2,724,300	102.4	98.3	56.8	皆増
2. 繰入金	79,308,000	79,307,635	79,307,635			△365	100.0	100.0	39.6	皆増
3. 諸収入	7,279,000	7,275,770	7,275,770			△3,230	100.0	100.0	3.6	皆増
歳入合計	197,818,000	202,511,105	200,538,705		1,972,400	2,720,705	101.4	99.0	100.0	皆増

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合 (%)		前年対増減比 (%)
					予算対	歳出計対	
1. 総務費	11,859,000	11,614,245		244,755	97.9	5.9	皆増
2. 後期高齢者医療広域連合納付金	175,679,000	174,533,635		1,145,365	99.3	89.3	皆増
3. 保健事業費	9,441,000	9,383,661		57,339	99.4	4.8	皆増
4. 予備費	839,000			839,000	0.0	0.0	皆増
歳出合計	197,818,000	195,531,541		2,286,459	98.8	100.0	皆増

第17表 後期高齢者医療保険料収納状況

項目	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	収入未済額	予算対増減 (B)-(A)	予算 執行率 (%)	収入 歩合 (%)	構成比 (%)	平成19年度決算額		前年対 増減比 (%)
										収入済額	収入歩合 (%)	
現年度分	特別徴収	84,887,000	84,812,000	84,812,000	0	△75,000	99.9	100.0	74.4	—	—	皆増
	普通徴収	26,344,000	31,115,700	29,143,300	1,972,400	2,799,300	110.6	93.7	25.6	—	—	皆増
	計	111,231,000	115,927,700	113,955,300		1,972,400	2,724,300	102.4	98.3	100.0	—	—

6. 介護保険特別会計決算について

[総括] 第3期介護保険事業計画第3年度の平成20年度の決算状況は、歳入総額1,474,213千円、歳出総額1,468,382千円で、繰越額5,831千円となった。歳出決算額の約9割を占める保険給付費については、介護認定者及び介護サービス利用者の増加に伴い、対前年度比0.1%増となり歳出決算額全体では、1.1%の増となった。

第18表 平成20年度介護保険特別会計款別決算額

歳入

単位：円

款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	未収入額	予算対比較増減 (B)-(A)	収入割合 (%)			前年対増減比 (%)
							予算対	調定対	歳入計対	
1. 保険料	199,898,000	206,032,280	199,039,230		6,993,050	△858,770	99.6	96.6	13.5	△0.3
2. 使用料及び手数料	1,000	1,400	1,400			400	140.0	100.0	0.0	100.0
3. 国庫支出金	371,846,000	371,845,382	371,845,382			△618	100.0	100.0	25.2	7.0
4. 支払基金交付金	415,284,000	415,282,000	415,282,000			△2,000	100.0	100.0	28.2	△0.5
5. 県支出金	210,870,000	210,868,440	210,868,440			△1,560	100.0	100.0	14.3	1.5
6. 財産収入	116,000	115,802	115,802			△198	99.8	100.0	0.0	△29.7
7. 繰入金	248,682,000	248,682,000	248,682,000				100.0	100.0	16.9	△8.2
8. 繰越金	3,311,000	3,311,043	3,311,043			43	100.0	100.0	0.2	△74.2
9. 諸収入	25,197,000	25,068,456	25,068,456			△128,544	99.5	100.0	1.7	30,064.4
歳入合計	1,475,205,000	1,481,206,803	1,474,213,753		6,993,050	△991,247	99.9	99.5	100.0	1.2

歳出

単位：円

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合 (%)		前年対増減比 (%)
					予算対	歳出計対	
1. 総務費	100,002,000	99,645,413		356,587	99.6	6.7	13.3
2. 保険給付費	1,325,712,000	1,321,397,979		4,314,021	99.7	90.0	0.1
3. 財政安定化基金拠出金	1,272,000	1,271,996		4	100.0	0.1	0.0
4. 地域支援事業費	30,959,000	30,300,817		658,183	97.9	2.1	42.7
5. 基金積立金	11,401,000	11,400,553		447	100.0	0.8	732.8
6. 予備費	1,386,000			1,386,000	0.0	0.0	—
7. 諸支出金	4,473,000	4,365,520		107,480	97.6	0.3	△74.3
歳出合計	1,475,205,000	1,468,382,278		6,822,722	99.5	100.0	1.1

7. 農林業集落排水事業特別会計決算について

[総括] 田島地域（針生地区及び田部地区）、館岩地域、伊南地域の農業集落排水施設及び南郷地域（小野島地区）の林業集落排水施設並びに館岩地域（たのせ地区）の簡易排水施設の維持管理運営等を行った。

使用料調定件数…農業集落排水：909件、林業集落排水：14件、簡易排水：11件

第20表 平成20年度農林業集落排水事業特別会計款別決算額
歳入

単位：円

款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	未収入額	予算対比較増減 (B)-(A)	収入割合 (%)			前年対増減比 (%)
							予算対	調定対	歳入計対	
1. 分担金及び負担金	285,000	285,000	285,000				100.0	100.0	0.1	△50.0
2. 使用料及び手数料	49,844,000	54,520,648	50,018,670		4,501,978	174,670	100.4	91.7	24.3	△7.3
3. 繰入金	124,505,000	124,504,692	124,504,692			△308	100.0	100.0	60.4	△4.8
4. 繰越金	1,257,000	1,257,300	1,257,300			300	100.0	100.0	0.6	△51.9
5. 諸収入	1,030,000	1,029,000	1,029,000			△1,000	99.9	100.0	0.5	1,896.2
6. 町債	29,000,000	29,000,000	29,000,000				100.0	100.0	14.1	31.2
歳入合計	205,921,000	210,596,640	206,094,662		4,501,978	173,662	100.1	97.9	100.0	△1.9

歳出

単位：円

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合 (%)		前年対増減比 (%)
					予算対	歳出計対	
1. 集落排水事業費	48,115,000	48,082,901		32,099	99.9	23.5	△11.4
2. 公債費	156,898,000	156,896,751		1,249	100.0	76.5	1.5
3. 予備費	908,000			908,000	0.0	0.0	-
歳出合計	205,921,000	204,979,652		941,348	99.5	100.0	△1.8

8. 公共下水道事業特別会計決算について

[総括] 田島地域の公共下水道施設及び南郷地域の特定環境保全公共下水道施設の適正な維持管理に努めるとともに、管渠埋設工事により、整備済面積が約215ha（田島地域約119ha、南郷地域約96ha）となった。
 使用料調定件数…公共下水道：1,102件、特定環境保全公共下水道：556件

第23表 平成20年度公共下水道事業特別会計款別決算額
 歳入

単位：円

款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	未収入額	予算対比較増減 (B)-(A)	収入割合 (%)			前年対増減比 (%)
							予算対	調定対	歳入計対	
1. 分担金及び負担金	4,056,000	11,069,800	4,083,500		6,986,300	27,500	100.7	36.9	0.9	△13.0
2. 使用料及び手数料	76,118,000	77,893,299	76,725,883		1,167,416	607,883	100.8	98.5	17.1	△1.1
3. 国庫支出金	96,654,000	96,655,000	96,655,000			1,000	100.0	100.0	21.6	△1.7
4. 県支出金	4,832,000	4,832,750	4,832,750			750	100.0	100.0	1.1	△1.7
5. 繰入金	173,111,000	173,110,847	173,110,847			△153	100.0	100.0	38.7	△5.8
6. 繰越金	3,290,000	3,290,760	3,290,760			760	100.0	100.0	0.7	13.1
7. 諸収入	19,000	19,884	19,884			884	104.7	100.0	0.1	15,935.5
8. 町債	88,800,000	88,800,000	88,800,000				100.0	100.0	19.8	△0.3
歳入合計	446,880,000	455,672,340	447,518,624		8,153,716	638,624	100.1	98.2	100.0	△3.0

歳出

単位：円

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合 (%)		前年対増減比 (%)
					予算対	歳出計対	
1. 土木費	252,748,000	252,629,025		118,975	100.0	56.7	△0.9
2. 公債費	193,248,000	193,247,193		807	100.0	43.3	△4.8
3. 予備費	884,000			884,000	0.0	0.0	-
歳出合計	446,880,000	445,876,218		1,003,782	99.8	100.0	△2.6

9. 簡易水道事業特別会計決算について

[総括] 栗生沢簡易水道整備事業を行い、また、各簡易水道の維持管理に努め、給水の安定供給を図った。

第26表 平成20年度簡易水道事業特別会計款別決算額
歳入

単位：円

款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	未収入額	予算対比較増減 (B)-(A)	収 入 割 合 (%)			前年対増減比 (%)
							予算対	調定対	歳入計対	
1. 使用料及び手数料	248,216,000	276,982,628	248,784,033		28,198,595	568,033	100.2	89.8	36.3	3.2
2. 国庫支出金	28,800,000	28,800,000	28,800,000				100.0	100.0	4.2	16.9
3. 財産収入	19,000	18,956	18,956			△44	99.8	100.0	0.0	△79.5
4. 繰入金	285,960,000	285,958,265	150,158,265		135,800,000	△135,801,735	52.5	52.5	21.9	△5.0
5. 繰越金	4,056,000	4,056,151	4,056,151			151	100.0	100.0	0.6	△62.5
6. 諸収入	950,000	984,608	984,608			34,608	103.6	100.0	0.1	△75.4
7. 町債	252,800,000	252,800,000	252,800,000				100.0	100.0	36.9	137.1
歳入合計	820,801,000	849,600,608	685,602,013		163,998,595	△135,198,987	83.5	80.7	100.0	25.7

歳出

単位：円

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合 (%)		前年対増減比 (%)
					予算対	歳出計対	
1. 簡易水道事業費	342,327,000	205,390,205	135,800,000	1,136,795	60.0	30.1	12.9
2. 公債費	476,974,000	476,973,185		815	100.0	69.9	32.7
3. 予備費	1,500,000			1,500,000	0.0	0.0	—
歳出合計	820,801,000	682,363,390	135,800,000	2,637,610	83.1	100.0	26.1

10. 水道事業会計決算について

[総括] 水道水の安定供給を図るため、公共下水道工事や土地区画整理事等に合わせて給配水管の布設（替）工事を実施した。
 当年度の損益勘定については、収益的収入163,787千円（消費税抜き）に対し、収益的支出は169,516千円（消費税抜き）で当年度純損失5,729千円となった。純損失が生じた要因は、水道使用料が大幅に減少したことによるものであるが、今後も更なる経費縮減と使用料の滞納整理を進め健全な企業運営に努める。

第29表 平成20年度水道事業会計款項別決算額
 収益的収入

単位：円

区 分	予 算 現 額				決 算 額 (B)	予算対比較増減 (B)-(A)	収 入 割 合 (%)		前年対増減比 (%)
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支 出額に係る財源充当額	計 (A)			予算対	歳入計対	
第1款 水道事業収益	180,235,000	△10,023,000		170,212,000	170,753,072	541,072	100.3	100.0	2.9
第1項 営業収益	156,968,000	△9,305,000		147,663,000	147,860,494	197,494	100.1	86.6	△2.9
第2項 営業外収益	23,267,000	△718,000		22,549,000	22,892,578	343,578	101.5	13.4	66.8

収益的支出

単位：円

区 分	予 算 現 額				決 算 額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	不 用 額	執 行 割 合 (%)		前年対増減比 (%)
	当初予算額	補正予算額	予備費支出及び流用増減額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額				計	予算対	
第1款 水道事業費用	177,761,000	220,000			177,981,000		2,499,617	98.6	100.0	6.9
第1項 営業費用	118,069,000	△3,502,000			114,567,000		1,856,764	98.4	64.2	3.1
第2項 営業外費用	58,442,000	4,222,000			62,664,000		196,124	99.7	35.6	15.1
第3項 特別損失	250,000	0	54,000		304,000	303,271	729	99.8	0.2	△47.7
第4項 予備費	1,000,000	△500,000	△54,000		446,000	0	446,000	0.0	0.0	—

第5 地方財政状況調査による資料

(注) この資料は地方財政状況調査(普通会計)の規定により算出したものであり、一般会計の係数等とは異なる。

項目	係数		意義
財政力指数	18年度	0.263	普通交付税算定において、基準財政収入額を基準財政需要額で除したものであり、基準財政需要額から基準財政収入額を差し引いた不足分は、普通交付税によって補われる。したがって財政力指数が「1」に近い団体ほど財政力が強く、財源に余裕ができ、弾力的な財政運営が図られる。
	19年度	0.263	
	20年度	0.248	
	3ヶ年平均	0.258	
実質収支	20年度	千円 270,310	形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたもので、団体の純剰余又は純損失を意味し、財政運営状況を判断する重要なポイントとなる。
単年度収支	〃	千円 43,172	当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いたもので、その黒字又は赤字額で収支の均衡の状況が見られる。
実質単年度収支	〃	千円 330,484	実質単年度収支についての考え方は、単年度収支のそれとほぼ同様であるが、積立金、地方債繰上償還、積立金取り崩しが含まれるため、収支に表れない財政運営の弾力性を見られる。
標準財政規模	〃	千円 8,813,249	地方団体の標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源ベースでの財政規模を示すもので、通常水準の行政活動を行う上に必要な一般財源の総量を示すものである。
経常収支比率	〃	92.1	経常的一般財源を経常的経費にどれだけ充当したかを表すもので、その剰余財源が大きいほど、新たな行政需要に弾力的に応じられることができるといえる。(臨時財政対策債、減税補てん債を経常一般財源に加えた比率)
実質収支比率	〃	3.1	実質収支額の標準財政規模に対する比率であり、財政運営の指標となるものである。
公債費比率	〃	11.4	地方債の元利償還額と地方公共団体の財政との関係において、将来的な財政構造を示す指標となる。
地方債許可制限比率	18～20年度の 3ヶ年平均	10.5	元利償還額が多額になり、財政圧迫をもたらすことのないよう、地方債の許可を制限するための指標。

第6 健全化判断比率の状況

単位：%

項目	早期健全化基準	財政再生基準	比率		意義
実質赤字比率	13.63	20.00	20年度	—	一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率 $\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$
連結実質赤字比率	18.63	40.00	〃	—	全会計を対象とした実質赤字（又は資金不足額）の標準財政規模に対する比率 $\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$
実質公債費比率	25.0	35.0	18～20年度の 3ヶ年平均	17.6	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率 $\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{元利償還金} + \text{準元利償還金} - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}))}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$
将来負担比率	350.0	/	20年度	102.0	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率 $\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$
資金不足比率					公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率
上水道事業	20.0	/	20年度	—	$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$
農林業集落排水事業				—	
公共下水道事業				—	
簡易水道事業				—	